

令和7年度 事業報告

学校法人 法林寺学園

1. 事業計画の基本方針

教育方針 仏教精神を教育の場に活かし、すべての物に感謝の念と、人をいたわる慈悲の心を養い、豊かな情操と道德心の芽生えを育てる

日常生活の基本的習慣を身につけ、考える力や創造力を伸ばし、自主独立の心を育てよき社会人となる基礎を身につけることを、本園の教育方針としている。

2. 園児数

	園則上の定員		5/1の状況		左の内訳	
年齢	学級数	定員	学級数	人数	男児	女児
3歳児	4	100	3	34	13	21
4歳児	3	90	3	37	17	20
5歳児	3	90	1	23	15	8
計	10	280	7	94	45	49

		3/31の状況		左の内訳	
年齢		学級数	人数	男児	女児
3歳児		3	44	21	23
4歳児		3	37	17	20
5歳児		1	24	15	9
計		7	105	53	52

3. 役員・教職員数

役員	理事	6名
	監事	2名
	評議委員	13名
教職員	園長	1名
	教諭	18名
	事務職員	2名
	講師	7名

4. 事業の概要

保育内容

昨年度の内容にこだわらず、新たな方法・取り組みを積極的に導入した。

外部アピール

ホームページの内容の見直しや写真の差し替えを行った。

ブログ内容も、保育の内容や行事の様子など、幼稚園のことを知ってもらえるように工夫した。

統合保育

資格を持つ職員を中心に、園全体の「支援が必要な子」の実態把握と情報共有に注力した。一人ひとりに合った支援方法について、学年会議を主に意見の交換ができるよう努めた。

研修

「わくわくイベント会」と称し、年中行事や日本ならではの習わし等に着目し、各クラス舞台に立って発表する機会を作った。職員は、行事やイベントをどのように子どもたちに伝えるか試行錯誤し、子どもたちは緊張感を味わいつつ、友達と協力しひとつの物を作り上げる喜びを感じる経験ができた。

